

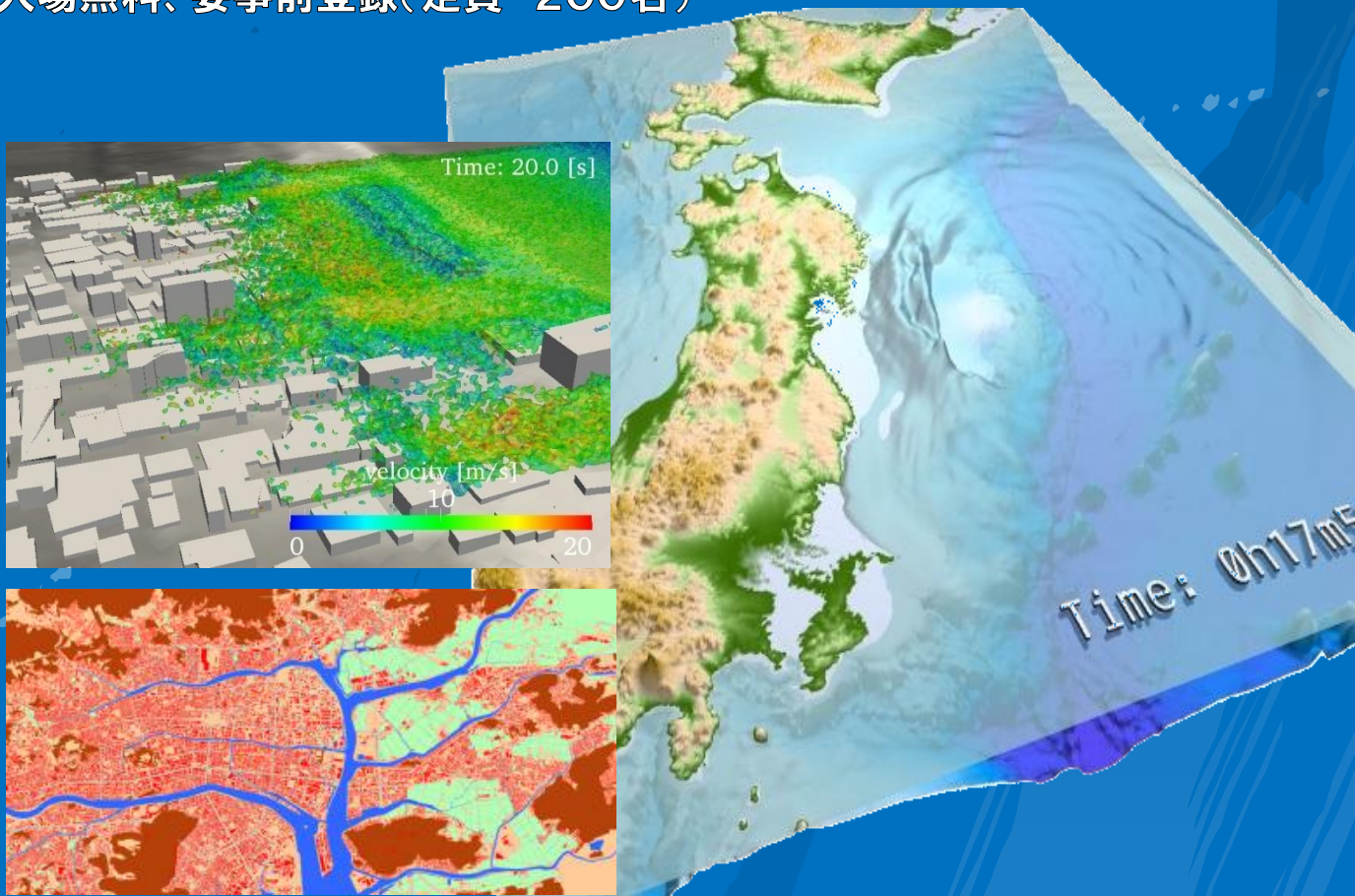
# 地震津波課題ワークショップ

## ～東北地方太平洋沖地震を踏まえて～

日時:平成24年2月27日(月) 10:00～17:00

会場:独立行政法人理化学研究所 計算科学研究機構セミナー室  
神戸市中央区港島南町7-1-26

入場無料、要事前登録(定員 200名)



主催:独立行政法人海洋研究開発機構  
後援:独立行政法人理化学研究所 計算科学研究機構(予定)

**参加登録先:** <http://www.jamstec.go.jp/hpci-sp/info/120227/120227.html>

定員になり次第、登録を締め切らせていただきます。昼食は会場近くの食堂を利用することが可能です。

**問合せ先:** 海洋研究開発機構 地震津波・防災研究プロジェクト  
TEL 045-778-5676 E-mail donet\_info@jamstec.go.jp

# HPCI戦略プログラム 分野3 地震津波課題ワークショップ ～東北地方太平洋沖地震を踏まえて～

2月27日(月) 10:00-17:00	
10:00-10:10	開会挨拶 (文部科学省情報課 計算科学技術推進室長 林孝浩)
東日本太平洋沖地震を受けて	
10:10-10:25	地震津波課題の取り組みについて (海洋研究開発機構地震津波・防災研究プロジェクト 金田義行)
10:25-10:40	東日本大震災を踏まえた津波予測の課題 (関西大学社会安全学部 高橋智幸)
地震の予測精度の高度化に関する研究	
10:40-10:55	大規模シミュレーションで地震津波災害軽減に挑む (東京大学大学院情報学環 古村孝志)
10:55-11:10	高分解能地球深部構造・地下構造モデルの構築に向けた大規模シミュレーション (海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域 坪井誠司)
11:10-11:25	地震津波波動伝播の2つの可視化手法:VR投入可視化と監視カメラ法 (神戸大学大学院工学研究科 陰山聡)
11:25-11:55	プレート境界固着すべりのデータ同化と地震発生シナリオ (海洋研究開発機構地震津波・防災研究プロジェクト 堀高峰)
11:55-12:05	質疑応答
津波の予測精度の高度化に関する研究	
12:05-12:25	津波の予測精度高度化についての概要・釜石湾口防波堤の効果と被災メカニズムの検討 (港湾空港技術研究所津波防災研究センター 有川太郎)
12:25-12:45	SPHとDEMIによる津波と構造物の連成シミュレーション (海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス領域 阪口秀・西浦泰介)
12:45-12:55	質疑応答
都市全域の自然災害シミュレーション	
14:00-14:15	構造・都市シミュレーションの概要 (東京大学地震研究所 堀宗朗)
14:15-14:30	地盤-構造連成を考慮した大規模構造物の地震応答解析 (日本大学工学部情報工学科 宮村倫司)
14:30-14:45	都市の地震動-津波と避難のシミュレーション (東京大学地震研究所 市村強)
14:45-14:55	質疑応答
パネルディスカッション (進行 金田 義行)	
15:15-16:45	今後の課題と予測研究の展望 -南海トラフ巨大地震・津波減災への挑戦- (国際高等研究所 尾池和夫、東京大学地震研究所 堀宗朗、兵庫県防災計画課 村田昌彦、オレゴン州立大学 Harry Yeh)
16:50-17:00	閉会挨拶 (海洋研究開発機構 今村努)

開催場所:独立行政法人理化学研究所  
計算科学研究機構セミナー室  
〒650-0047 神戸市中央区港島南町7-1-26  
京コンピュータ前駅から徒歩約3分

問合せ先:独立行政法人海洋研究開発機構  
地震津波・防災研究プロジェクト  
TEL 045-778-5676  
FAX 045-778-5463  
E-mail donet\_info@jamstec.go.jp

